

みずほCustomer Desk Report 2020/06/16 号 (As of 2020/06/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】			公示仲値		107.24
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.32	1.1253	120.76	1.2510	0.6826
SYD-NY High	107.56	1.1332	121.60	1.2606	0.6924
SYD-NY Low	107.00	1.1227	120.35	1.2455	0.6777
NY 5:00 PM	107.34	1.1323	121.52	1.2606	0.6920

NY DOW	25,763.16	157.62	日本2年債	-0.170	▲1.00bp
NASDAQ	9,726.02	137.21	日本10年債	0.000	▲1.00bp
S&P	3,066.59	25.28	米国2年債	0.192	▲0.19bp
日経平均	21,530.95	▲774.53	米国5年債	0.342	0.96bp
TOPIX	1,530.78	▲39.90	米国10年債	0.719	0.98bp
シカゴ日経先物	21,990.00	▲250.00	独10年債	-0.4455	▲0.55bp
ロンドンFT	6,064.70	▲40.48	英10年債	0.2070	0.10bp
DAX	11,911.35	▲37.93	豪10年債	0.8650	▲3.90bp
ハンセン指数	23,776.95	▲524.43	USDJPY 1M Vol	7.08	▲0.25%
上海総合	2,890.03	▲29.71	USDJPY 3M Vol	7.08	▲0.07%
NY金	1,727.20	▲10.10	USDJPY 6M Vol	7.57	0.04%
WTI	37.12	0.86	USDJPY 1M 25RR	-1.70	Yen Call Over
CRB指数	134.78	0.46	EURJPY 3M Vol	9.14	▲0.09%
ドルインデックス	96.71	▲0.61	EURJPY 6M Vol	9.25	0.02%

東京	東京時間のドル円は107.32レベルでオープン。米国や中国で新型コロナウイルスの再拡大懸念を背景にドル円は終日軟調に推移した。午後に日経平均株価が一段安となるとドル円は107.00まで下落。その後は少し値を戻し、結局107.23レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.23レベルでオープン。週末を通して米国の一部で新型コロナウイルスの2次感染拡大の報道を受けた円高が一巡した模様。新規材料が報じられないなか、約30銭のレンジで横ばいし、107.38レベルでNYに渡った。ボンドは、1.2460レベルでオープンし、アジア時間の終盤はボンド安が見られたものの、ロンドン時間に入ると買い戻しの動きが優勢となり、1.2548まで上昇した。しかし、ジョンソン首相とフォン・デア・ライエ欧州委員長らが英離脱の移行期間をめぐって午後にビデオ会議を行う予定だったことから、その後は上値重く推移し、1.2548レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 マルビル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、一時107.56まで上昇する場面もあったが、中国や米国の一部地域での新型コロナウイルス感染拡大第2波への懸念が強まり、世界的な株安が円高圧力となったことから、一時107.00まで下落。売り一巡後は、米株先物が下げ幅縮小する動きを跳ぎ、ドル円も買い戻され、107.38レベルでNYオープン。朝方は6月ニューヨーク連銀製造業景気指数が発表され、予想ほど悪化していなかったが、市場の反応は限定的だった。寄り付き後に一時700ル超え安だったダウ平均が下げ幅を縮小し、リスクオフムードが後退するが、ドル売り圧力が円高圧力に相殺された結果、ドル円は107.40近辺の狭いレンジで振幅が続く。午後はダウ平均がプラス圏に浮上し、14時には「FRBが米社債の広範な買い入れを開始する」とのヘッドラインが伝わり更に米株の上昇が加速するが、ドル売り円売りの流れに値動きは限定的で、結局、107.34レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、一時1.1227まで下落するも、英首相と欧州委員長のFTA交渉会談を控え、様子見ムードが広まる中、更なる売りは限定的だった。1.1250を挟んだレンジでもみ合いが続き、1.1259レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ1.12台半ばでもみ合い。その後、米株が下げ幅を縮小しリスクオフのドル買いが巻き戻されたことや、英首相と欧州委員長の会談終了後に「ブレグジットの移行期間延長はなく、合意に向けて交渉を加速させる」と伝わりユーロが買われたことを受けて、1.1294まで上昇する。買い一巡後、1.1260近辺まで反落するが、午後のダウ平均プラス圏浮上や、FRBの社債購入を巡るヘッドラインを背景にドル売りが強まる中、1.1332まで高値を更新。終盤は小幅値を戻し、結局、1.1323レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 高根・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

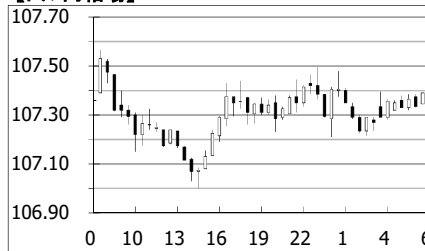
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月15日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	5月 -13.5%/-6.3%/-2.8%	-13.5%/-6%/-3.0%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	6月 -0.2	-29.6

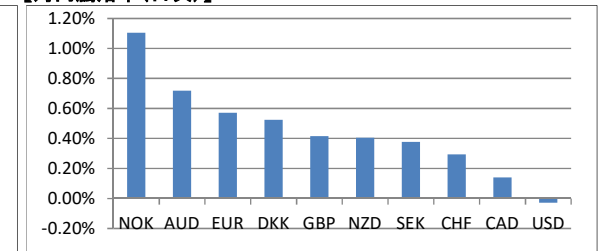
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月16日	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 -0.1%/0.6%	-0.1%/0.6%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	6月 60/-82	51/-93.5
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	5月 8.4%	-16.4%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 3.0%	-11.2%
	23:00	米 バウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 中国からの生産移管と東南アジアへの投資

昨年の今頃を思い出してみると、ちょうど米中貿易摩擦問題において両国が合意できず、市場では人民元安が大きく進んだところだった。その後も米中貿易摩擦問題関連のヘッドラインに市場は大きく降られる展開が続く、実体経済への影響としては中国からの生産移管を検討する企業もあった。特にチャイナプラスワンの投資先として検討された国としてはベトナムやタイなどを筆頭とする東南アジア各国であった。また生産移管だけでなく、米中貿易摩擦問題の影響を受け、アメリカの輸出相手国としてベトナムのシェアが大きく高まった。

直近では、新型コロナウイルスの世界的流行がサプライチェーンの一端集中のリスクをより明確にした。加えて、米中対立の再燃への懸念もあることから、再度サプライチェーンの変更を検討する企業も出てきているようだ。日本においても生産拠点が集中する中国からの日本への国内回帰や第三国への移転を支援する対策が打ち出されており、日系企業を含め東南アジア諸国への投資は今後更に増加することが見込まれる。生産移管については中国への一端集中を避けることが目的であり、実際に中国から撤退するという企業が大きく増えるわけではないだろうが、東南アジアの生産拠点としての地位が高まるペースは加速するだろう。また、東南アジアへの投資が増加しているのは中国も同様で、中国全体の海外直接投資額は減少する一方、2020年1月～4月の中国の「一帯一路」沿線国への投資額は前年同期比13.4%増で、主にシンガポール、インドネシア、ラオス、ベトナムへの投資があったとされている。

東南アジア各国においては経済の一部再開などもすでに始まっており、経済回復には至っていないものの先んじて株式市場、為替市場ともに堅調な推移を見せている状況だ。東南アジアへの投資はさらに加速し、中長期的な通貨高にもつながるだろう。(高根)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14